

コンサルフォーラムを開催

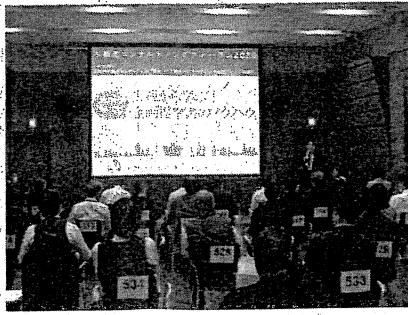
大阪コンサル協

大阪府不動産コンサルティン
グ協会（米田淳会長）はこのほ
ど、大阪府北区の大阪大学中之
島センター・佐治三メモリアル
ホールで、不動産流通推進セ
ンター認定資格の不動産コンサ
ルティンクマスター登録更新研
修を兼ねた「不動産コンサル
ティンクフォーラム2020」
（写真）を開催した。不動産コ
ンサルティンク近畿ブロック協
議会と京都府不動産コンサル
ティンク協会の共催で、07年の
初回フォーラムから数えて14回
目。

今回のフォーラムは新型コロナウイルス
感染症感染防止のため9月
開催が延期になり、会場を4つ
に分散するなど最大限配慮した

上で執り行われ、約130人が
参加した。

「実践から学ぶ」企画提案書
のノウハウ」をメインテーマ
に、(1)企画提案書の考え方と活
用場面、(2)効果的な企画提案方
法とは、(3)企画提案書作成のプ
ロセスとノウハウ、(4)他の関係
者へ説明するための企画提案書
の4セミナーを実施、不動産コ
ンサルティンク業務につながる



重要なツールの一つ、「企画提
案書」作成・説明についてビジ
ネスの場で活用する専門家を招
き実例を交えながら解説した。
講師は大阪府コンサル協の岡原
隆裕副会長、萩野信義前副会
長、西村匡史理事、和田清人理
事の4氏が担当した。

フォーラムの冒頭にあいさつ
した米田会長は、「コンサルティ
ンク業務の核となる、契約、企
画提案書、業務、報告、報酬の
1つに上げられる企画提案書。
受託業務の成果物として、作成
には、明瞭、問題点の明確化、
リスク判断可」の3つの留意
事項を示すことが必要。書面化
までのヒントを今回のフォーラ
ムで掴んでほしい」と述べた。